



## 感染症や残暑に負けず充実した学校生活を

◆8/24（月）夏休み明け登校日に当たって（テレビ放送朝会 校長の話より抜粋）◆

「今日からまた授業が始まります。そこで皆さんに2つのお願いをします。

一つ目は、心身の健康を大切にすることです。短い夏休みで学校が始まってしまったので、心や体がついていけないことがあります。重い気持ちで学校に来た人もいるかも知れません。急がず少しずつ心や体を慣らしていきましょう。また、全国的に新型コロナウイルス感染確認が増えています。気を緩めることなく、感染防止対策を続けていきましょう。また、熱中症予防にも十分注意しましょう。心配や不安が生じたときには、遠慮無く先生方に相談してください。

二つ目は、やりたいことがなかなかできずに辛い時期ではありますが、今やるべきこと、やれることを一つ一つ精一杯やっていくことです。最も大切なことは授業にしっかり取り組むことです。授業はじっくりと急がず進めて行きます。暑い中ですが、真剣に、集中して授業に取り組みましょう。皆さんが楽しく充実した学校生活を送れるよう、各種行事や諸活動も可能な限り工夫して行っていきたいと考えています。

今朝、テレビで、パラリンピックの父といわれるイギリスの医師ルードウィヒ・グットマンの言葉が紹介されていました。「失ったものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ」という言葉です。これは今の「コロナ禍」という状況にもあてはまります。できなくなったことを嘆くよりも、できることを見つけ、充実させていくことが大事です。みんなで支え合い、実り多い学校生活にしましょう。」



ICT授業の学び合い

## Topics

本校Webページでも紹介しています (<http://www.magokoro.ed.jp/umegaoka-c/>)



### 【授業公開】7月28日（火）～30日（木）

各学級を出席番号により3つのグループに分け、3日間にわたり1時間ずつ分散型の授業公開を実施しました。各家庭1名以内、来校前の検温、体調不良の場合の参観自粛、手指の消毒、マスク着用、廊下からの参観、会話自粛等の感染防止対策にご協力いただきました。年度始めに学級懇談を実施できなかったため、各学級担任から、学級目標、学級の様子、担任の思い等を記した資料を配布しました。子どもたちはいつもどおり落ち着いて、かつ集中して授業に臨んでいました。学校における感染防止対策の様子、厳しい制約の中でも頑張っている子どもたちや教職員の姿をご覧いただけましたものと思います。



### 【学校運営協議会】8月5日（水）

本校にて、第2回見川中学校区学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会とは、「コミュニティスクール」として「地域とともにある学校」を目指し、学校と地域が一体となって児童生徒の教育、健やかな成長を担っていくことというものです。水戸市では、昨年度、全ての小・中学校において取組が始まり、各学校ごとだけでなく、小中一貫教育を踏まえ、各中学校区ごとの学校運営協議会も設置されています。この日は、見川小学校、梅が丘小学校、見川中学校の委員が一堂に会し、昨年度の活動の進捗状況、成果の確認を行ってから、今年度の活動の方向性・活動内容などについて協議しました。見川中学校区学校運営協議会には、地域交流部、学校支援部、評価部の3つの部が設置されており、それぞれに各学校のメンバーが入り、協働して活動を進めています。全体会の後、各学校ごとの学校運営協議会を行いました。今年度の学校教育目標や教育活動について、新型コロナウイルス対応についてなど、幅広い内容の協議が行われました。



### 【梅が丘にも遺跡が…】8月6日（木）

学区内にお住まいの方から、土器の破片を預かりました。ご自宅を建てたとき庭を掘ったら出てきたそうです。専門家に見ていただいたところ、約4,500年前の縄文時代中期の土器と思われるとのことでした。もっと発掘すれば、住居跡なども見つかるかも知れません。本校近辺も、かつて縄文人が暮らし、狩猟生活を送っていた可能性があります。ワクワクしますね。



## お知らせとお願い!



### ■新型コロナウイルス対応について■ ～8月20日（木）配信メールから～

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために、特に次のことにご協力ください。

- お子さん及び同居家族について、毎日、朝、就寝前に検温等体調確認を行い、お子さんに発熱等の風邪の症状がある場合は学校を休ませ、自宅で休養させる。同居家族に風邪症状が見られる場合にも登校を控え、自宅で休養させる（出席停止扱い）。
- 児童及び同居家族が新型コロナウイルス感染症に感染した場合、PCR検査を受けることになった場合、濃厚接触者に特定された場合には、速やかに学校への連絡する。
- 本校関係者から感染者が確認された場合、感染症で苦しむ児童や家族等が心ない言動や差別で苦しみ、辛い思いをすることのないよう、またSNS等で感染者の特定などはしないよう家庭で指導する。